

記載例（離婚届と同時に離婚の際に称していた氏を称する届（戸籍法77条の2の届）を提出する場合）

離婚届

令和2年1月1日届出

(あて先) 大阪府大東市長

受理 令和 年 月 日	発送 令和 年 月 日					
第 号	長 印					
送付 令和 年 月 日						
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。  
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。  
届書は、1通でさしつかえありません。  
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本が必要ですから、あらかじめ用意してください。  
そのほかに必要なもの  
調停離婚のとき→調停調書の謄本  
審判離婚のとき→審判書の謄本と確定証明書  
和解離婚のとき→和解調書の謄本  
認諾離婚のとき→認諾調書の謄本  
判決離婚のとき→判決書の謄本と確定証明書

本届出書中字訂正字加入字削除

夫

妻

(よみかた)	夫 だいとう たろう	妻 だいとう はなこ
氏名	大東 太郎	大東 花子
生年月日	昭和50年10月10日	昭和53年4月15日
住所	大阪府大東市谷川1丁目 番地 1 番 1 号	大阪市中央区谷町2丁目 番地 1 番 17 号 谷町マンション101号
(住民登録をしているところ)	世帯主 大東 太郎	世帯主 大阪 和夫
本籍	大阪府大東市幸町 8 番地 番	大阪府大東市曙町 番地 番
(外国人のときは国籍だけを書いてください)	筆頭者 大東 太郎	
父母の氏名父母との続き柄(他の養父母は書いてください)	夫の父 大東 一郎 続き柄 長 男 母 松子	妻の父 大阪 和夫 続き柄 長 女 母 春子
離婚の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 協議離婚 <input type="checkbox"/> 調停 年 月 日成立 <input type="checkbox"/> 審判 年 月 日確定	<input type="checkbox"/> 和解 年 月 日成立 <input type="checkbox"/> 請求の認諾 年 月 日認諾 <input type="checkbox"/> 判決 年 月 日確定
婚姻前の氏に	<input type="checkbox"/> 夫 は <input type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる	
もどる者の本籍	番地 筆頭者	
未成年の子の氏名	夫が親権	妻が親権 大東桜子、大東和郎
同居の期間	昭和 12 年 2 月 から 平成 16 年 4 月 まで (同居を初めたとき)	昭和 16 年 4 月 まで 平成 (別居したとき)
別居する前の住所	大阪府大東市谷川1丁目 1番 1号	
別居する前の仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)	
夫妻の職業	夫の職業	妻の職業
その他		
届出人	夫 大東 太郎 印	妻 大東 花子 印
署名押印		
事件簿番号	住定年月日 夫 平成 年 月 日 妻 平成 年 月 日	

証 人 (協議離婚のときだけ必要です。)		
署 名 印	幸 竹 男 印	谷 川 夏 美 印
生 年 月 日	昭和 40 年 2 月 5 日	昭和 50 年 8 月 20 日
住 所	大阪府大東市灰塚4丁目 番地 1 番 1 号	大阪府大東市新町 番地 13 番 35 号
本 籍	大阪府大東市灰塚4丁目 番地 1 番 番	大阪府大東市曙町 番地 4 番 番

→ 父母がいま結婚しているときは、母の氏は書かないで、名だけを書いてください。  
養父母についても同じように書いてください。  
□には、あてはまるものに○のようにしるしをつけてください。

→ 今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください(この場合にはこの離婚届と同時に別の届出書を提出する必要があります)。

→ 同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてくだ

「届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく指定統計第5号、厚生労働省所管)にも用いられます。」

- ◎ 署名は必ず本人が自署してください。
- ◎ 印は各自別々の印を押してください。
- ◎ 届出人の印を御持参ください。
- ◎ 運転免許証やパスポートなど身分証明書を持参ください。

連絡先

電話( 072 )○○○-△△△△ 番

自宅・勤務先・呼出 方

夫 確認 通知 免・バ・保

妻 確認 通知 免・バ・保